

ソニー株の騰落頻度の集計

本稿では，ソニー(6758)の株価の騰落頻度の集計を行った．

ソニー株の各日の高値を基準とし，前日の高値より当日の高値が上回っていた場合に株価上昇とする．株価上昇が連続する日がどれくらいの頻度になるかについて，2001 年 7 月 6 日から 2002 年 5 月 30 日までの期間について集計した．

結果，表 1 と図 1 のようになった．

表 1 連続して株価が上昇(下落)する日数と頻度

	頻度(回)		頻度(回)
連続上昇 1 日	21	連続下降 1 日	23
連続上昇 2 日	16	連続下降 2 日	15
連続上昇 3 日	6	連続下降 3 日	6
連続上昇 4 日	6	連続下降 4 日	8
連続上昇 5 日	3	連続下降 5 日	1

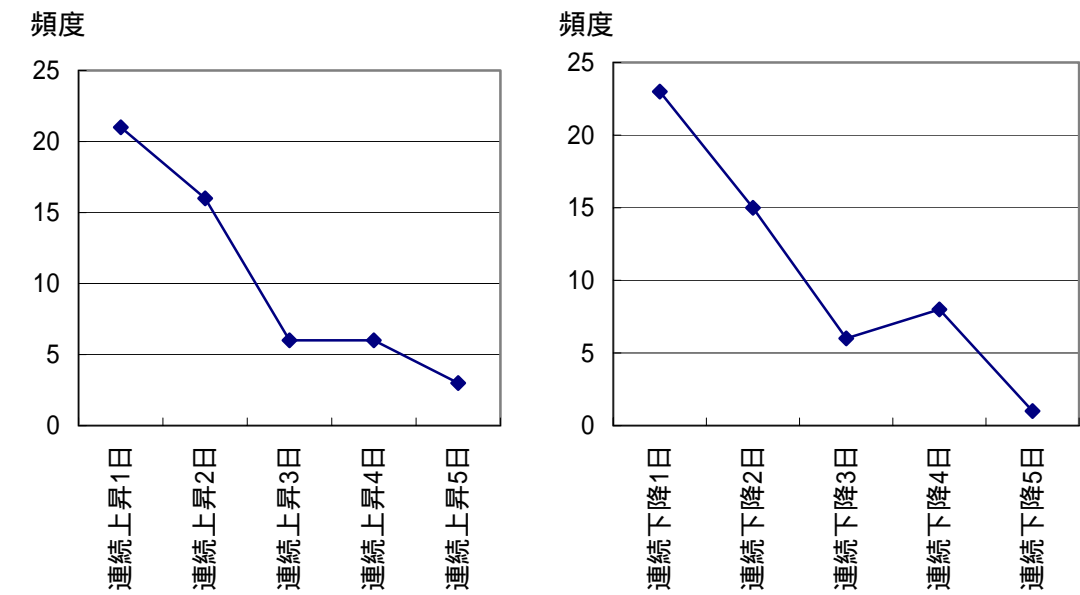


図 1 連続して株価が上昇(下落)する日数と頻度

これによれば，連続して上昇または下落は調査期間内では 5 日が最高で，およそ 4 日連続して上昇(下落)が続くと，反転すると判断してよさそうである．

次に、株価が上昇している場合、その翌日も株価が上昇する確率について検討する。
 たとえば、前日の株価が下落して、当日の株価が上昇（上述の定義のように、前日の株価の高値より当日の株価の高値が上回っていた）とする。この場合は、連続上昇 1 日となる。
 その条件の下で翌日の株価が引き続き上昇する確率は、連続上昇 1 日が成立した下で、連続上昇 2 日が成立する確率(条件付確率)として以下のように計算できる。

$$\text{翌日の株が上昇する確率} = \frac{\text{連続上昇 2 日以上の頻度}}{\text{連続上昇が 1 日のみの頻度} + \text{連続上昇が 2 日以上の頻度}}$$

ソニー株の場合、

$$\begin{aligned} \text{翌日の株が上昇する確率} &= \frac{16+6+6+3}{21+16+6+6+3} \\ &= 0.596 = 59.6\% \end{aligned}$$

同様に、株が 2 日上昇した状況の下で、翌日さらに上昇する確率は、

$$\begin{aligned} \text{翌日の株が上昇する確率} &= \frac{\text{連続上昇 3 日以上の頻度}}{\text{連続上昇が 2 日のみの頻度} + \text{連続上昇が 3 日以上の頻度}} \\ &= \frac{6+6+3}{16+6+6+3} \\ &= 0.483 = 48\% \end{aligned}$$

したがって、ある日のソニーが反発すれば、6 割の確率で次の日も引き続き上昇するが、2

日連騰した場合には、次の日に上昇するかは半々ということになる。

次に、株価上昇が連続する場合、金額としてどの程度まで上昇するかについて集計をした。上述の高値の定義の下で、株価下落から上昇に転じてまた下落に転じた場合、その上昇金額の分布はどうかを上記と同じ期間で調べた。同様に株価上昇から下落に転じてまた上昇に転じた場合、その下落の金額の分布を調べた。結果を表と図に示す。

表 2 連続して株価が上昇(下落)する金額と頻度

	頻度		頻度
連続上昇金額 0 円 ~	16	連続下降金額 0 円 ~	15
連続上昇金額 100 円 ~	14	連続下降金額 100 円 ~	13
連続上昇金額 200 円 ~	8	連続下降金額 200 円 ~	8
連続上昇金額 300 円 ~	6	連続下降金額 300 円 ~	8
連続上昇金額 400 円 ~	4	連続下降金額 400 円 ~	4
連続上昇金額 500 円 ~	0	連続下降金額 500 円 ~	1
連続上昇金額 600 円 ~	0	連続下降金額 600 円 ~	2
連続上昇金額 700 円 ~	0	連続下降金額 700 円 ~	1
連続上昇金額 800 円 ~	2	連続下降金額 800 円 ~	0
連続上昇金額 900 円 ~	0	連続下降金額 900 円 ~	0
連続上昇金額 1000 円 ~	1	連続下降金額 1000 円 ~	1
連続上昇金額 1100 円 ~	1	連続下降金額 1100 円 ~	0

図表より、連騰した場合、次の反落までの上げ幅は 200 円程度を境にして頻度がかなり低くなる。したがって、高値を追う場合には 200 円 ~ 300 円程度を利食い判断のひとつの目安にするのがよいと考えられる。

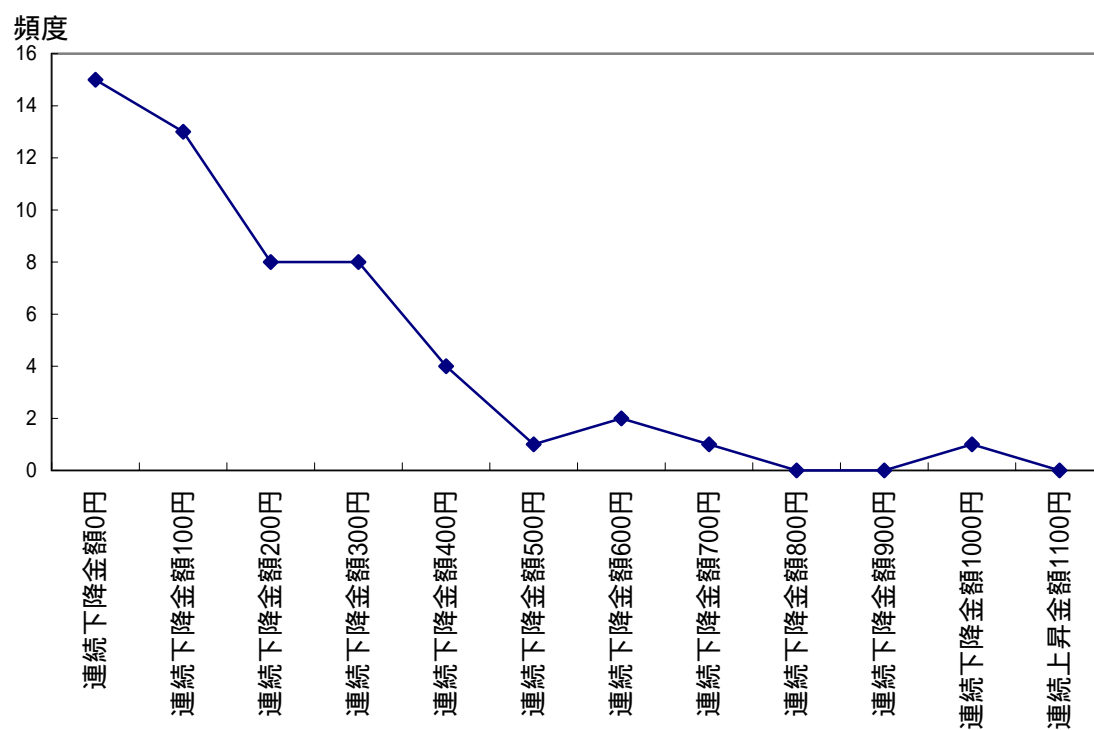
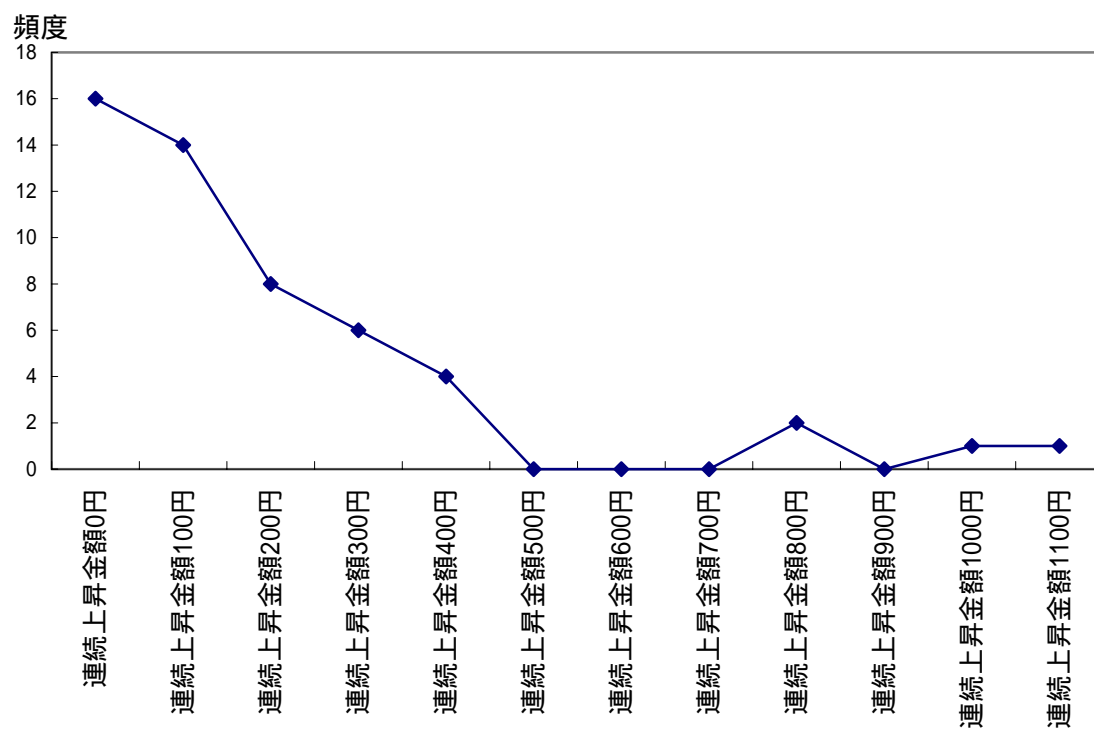


図2 連続して株価が上昇(下落)する金額と頻度

情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その内容の正確性および安全性を保証するものではありません
投資はご自身の判断でお願いいたします。
当方は、この情報を用いて行う判断の一切について責任を負いません。

かぶまる 2002 年 6 月 1 日作成